

《飯能県税事務所長賞》

幸せということ

藤沢中学校 三年 郡司 優里花

――消費税が、八パーセントから十パーセントに引き上げられます。――

それは、私が小学校四年生の時だった。その頃の私は、税金が何に使われているかなんて、全然考えたことがなかった。特に気にしていなかった。

それから一年。そんな私が、税金について興味を持つ機会があった。小学校で、タブレットが配布されたのだ。しかも、一人一台。「このタブレットは、入間市の税金によって皆さんに貸し出されているので、大事に使いましょう。」

先生の言葉を聞き間違えたのかな、と最初は信じられなかった。タブレットが配布されたのは、入間市内の小中学生全員だ。一台でも高価なはずなのに、「学習のために」と税金で買ってくれるとは、驚いたからだ。そこで私は、税金についてもっと知りたいと思い、調べてみることにした。

税金は、教育の他に、医療や年金などの社会保障・道路や橋の整備・災害復旧など、数えきれないくらいたくさんの方のサービスとして使われている。もし税金がなければ、消防車や救急車が呼べなかったり、外

はゴミであふれていたりするかもしれない。年金がなく、体に負担がかかるかもしれないけど、お金を稼ぐためには働くしかない。子供を学校に行かせてあげたいけど、家にはお金がないから働いてもらうしかない。そういった、無理をしないと生きていけない方々が出てくるかもしれないと考えると、私達の生活にはなくてはならない存在だと、身にしみて感じられた。税金について調べてみて、本当に良かったと思ってる。私も税金によって誰かの役に立てるのだと考えたら、とても嬉しくなった。

今、私はスマートフォンを持っていない。周りももう、中学校三年生にもなると持っている人がほとんどだ。私はまだ、もう少し持たなくても良いと思ってる。なぜなら、入間市の「税金」によって貸し出されている、タブレットがあるからだ。調べたいことがあったら調べられて、学習にとっても役立っている。

「みんなが幸せになれますように」と願いを込めて、私は今日も、消費税などで税金を払う。これからも「税金」に感謝をしながら、毎日を幸せに生きていきたい。